

大阪府済生会野江病院を受診された患者さんへ

当院では下記臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で研究への協力を希望されない場合は、下記担当窓口までご連絡下さい。

研究課題名	デュアルエナジースキャンを用いた CT 画像の臓器血流評価、非造影での病態識別能及び微細構造の描出能に関する retrospective 解析
研究責任者	(所属・職名) 放射線診断科 (氏名) 古市 健治
研究の背景	デュアルエナジースキャンを用いた CT では、任意の実効エネルギーの単色 X 線等価 CT 画像を算出し、エネルギー変調による CT 値変化や各画素内の密度情報を活用できるため、臨床上有用な新情報を提供できる可能性がある。
研究の目的	<p>研究の目的</p> <p>デュアルエナジースキャンで撮影された CT 画像データを用いて、急性腹症の主な原因である腸閉塞の虚血群と非腸管群で、腸管壁の造影剤量を定量化すること、胸痛や呼吸不全の主な原因である肺塞栓症での肺内の造影剤分布を解析すること、正常組織と、悪性腫瘍や肺気腫・間質性肺炎・慢性肝障害等の慢性炎症性疾患等の病的組織での物質密度の分布を比較すること、肺野末梢血管等の微小構造或いは肺野網状影等の微細病変の視認性や描出能が低エネルギー撮影画像で、高エネルギー撮影画像より向上するかどうか検討すること</p> <p>研究の意義</p> <p>将来的に、腸管虚血や肺塞栓重症度評価能、造影剤未使用での早期の悪性腫瘍・肺高血圧症や閉塞性肺障害検出能が向上する可能性があること</p>
研究期間	
研究方法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる患者さん <p>2018 年 1 月 1 日から 2018 年 11 月 30 日までの間に、急性腹症、肺塞栓/肺梗塞、悪性腫瘍、間質性肺炎、肺気腫、慢性肝障害と診断され、デュアルエナジースキャンを用いて CT 撮影がなされた方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する試料等 <p>デュアルエナジースキャンを用いて CT 画像データ</p>
研究組織	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 <p>(所属・職位) 放射線診断科・部長 (氏名) 古市 健治</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他の共同研究機関

個人情報の取り扱い	研究にあたっては、個人情報を直接同定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。
研究の資金源 (利益相反)	参加頂いた場合の利益・不利益はありません。
担当窓口	(電話番号) 06-6932-0401 (担当者) 古市 健治
備考	

大阪府済生会野江病院